



NPOファシリテーションきたのわ  
2012（平成24年）年度  
コミュニティ再生講座事業 報告書

目次		
1	団体紹介	1
2	事業概要	2
2-1	報告1. 釧路会場	3
2-2	報告2. 北見会場	5
2-3	報告3. 鶴居会場	7
2-4	報告4. 弟子屈会場	9
3	Q&A集	11
4	参加者アンケート結果	12
5	事業総括	14



## 1 団体紹介

### 「行動を生み出す参加型の場づくり」をしたい

**設立年月日** 2010年4月

**会員数** (2013年2月時点) 12名

会員の主な活動地域は、  
札幌市、江別市、安平町、滝川市、釧路市、北見市、弟子屈町、稚内市など

**きたのわの会員とは…**

地域や活動のなかで参加型の場づくりやファシリテーションを実践している、もしくはこれから実践していきたい人(ファシリテーションに関する知識や技術の取得、会員間の交流のみを目的とした入会はできません)。現在は、各地域で活動している NPO に関わる人がほとんどです。会員が関わるまちづくりの取り組みやファシリテーションの現場などについて、具体的な情報の共有と意見交換を行います。  
(年会費 5000 円)

#### 大事にしていること

当団体の会員は、ミッションを達成するための仲間です。北海道内各地で活動している会員がファシリテーションで地域の課題を解決していくためには、知識や技術だけではなく実践現場における経験を積むことが大切だと考えます。きたのわでは、研修や学習の場において進行補助や運営補佐として関わることが出来る OJT 制度を設け、共に学びあえる実践的な学習の機会をつくっています。※OJT とは: on the job training の略。実務経験を積むことにより、必要とされる技術や知識を身につけるトレーニング方法のこと。

#### 活動実績 (一部抜粋)

2011 年度

2011年4月	チャリティ講座「会議を楽しくする方法！」(きたのわ)開催
2011年8月	真剣しゃべり場「ファシリテーション講座」(NPO 法人コンカリーニョ・すすきの盛り上げ隊)講師
2011年9月	「生命と私と経済と ～未来世代のグリーンエコノミー提言を今～」(国際青年環境 NGO A SEED JAPAN)メインファシリテーター
2011年10月	「市民と行政でつくる協働のまちづくり研修」(石狩市)10/3「協働のあり方と進め方を学ぶ市職員研修」講師 10/22、22「厚田・浜益地域交流 ふるさと自慢! まちづくりWS」進行
2011年10月	「第4回車いすを知ろう講座」(認定 NPO 法人飛んで! 車いすの会)進行
2011年10月	「ボランティア講座」(ビッグイシューさっぽろ)講師
2011年11月	平成23年度 環境カウンセラー研修 北海道地区ワークショップ(環境省環境カウンセラー協会北海道支部)ワールドカフェ進行
2011年11月	とかち・市民「環境交流会」2011 ワールドカフェ(とかち・市民「環境交流会」実行委員会)進行
2011年11月	「よい会議・わるい会議」講座(とかちワールドカフェの会)講師
2011年11月	新しい公共「NPO等基盤強化業務」「NPO中間支援団体機能強化」ボランティアコーディネーター研修講座 講師
2011年11月	北海道職員研修「協働の進め方」(北海道)講師
2011年12月	上士幌町教育委員会「生徒会サミット」進行
2012年2月	酪農教育ファーム認証研修会(ファシリテーター候補者向け)講師
2012年2月	中標津町行政研修(中標津町)講師

2012 年度

2012年4月	「ファシリテーション・グラフィック講座」(雨竜養護高等学校)講師
2012年5-6月	「会議が変われば世界が変わる 世界を変えるファシリテーション」(北海道大学 IFES-GCOE 環境教育研究交流推進室)講師
2012年8月	学習交流会「カラーユニバーサルデザインで観るファシリテーション・グラフィック」(きたのわ)開催
2012年9月	道東4地域キャラバン in 釧路「楽しい会議のつくり方」講座と学習交流会(きたのわ)開催
2012年10月	恵庭市職員研修講座(恵庭市)講師
2012年10月	道東4地域キャラバン in 北見「楽しい会議のつくり方」講座と学習交流会(きたのわ)開催
2012年11月	「楽しい会議のつくり方講座」(NPO 法人ひとまちつなぎ石狩)講師
2012年11月	北海道職員研修「協働の進め方」(北海道)講師
2012年11月	中間支援スタッフ研修「会議の進め方」(北海道立市民活動促進センター)講師
2012年11月	道東4地域キャラバン in 鶴居「楽しい会議のつくり方」講座と学習交流会(きたのわ)開催
2012年12月	道東4地域キャラバン in 弟子屈「楽しい会議のつくり方」講座と学習交流会(きたのわ)開催
2012年12月	「ファシリテーター養成講座」(別海町ファシリテーター養成講座実行委員会)講師
2012年12月	「マーキー本・出版記念ファシリテーション講座 in 札幌 ～みんなで会議上手になろう!～」(青木将幸ファシリテーター事務所)開催協力



## 2 事業概要

2012（平成24）年度 地域再生コミュニティ講座  
道東キャラバン「道東4地域におけるファシリテーション講座」

### この事業の目的 「参加型の場」の進行ができる人材を育てる

#### 社会の現状

近年、地域の課題解決には、行政だけではなくNPOや地域住民など多様な主体が対等な立場で参加し、対話を重ねながら協働で取り組んでいくプロセスが必要となってきた。そのためには、多様な主体が集まる「参加型の場」を作り上げ、その場の進行ができる人材を育てる必要がある。

#### 取り組み内容

今回はこれまでの道東地域における活動実績を踏まえ、道東4地域にてまちづくりを主体としたファシリテーションを学び体験する入門講座の開催と、すでに地域で実践している当団体会員や地元NPOの実践者同士の学習交流会を開催する。入門講座と実践者の交流・研修を連動して行うことで、各地域で、課題解決に有効な手法であるファシリテーションへの理解が深まり、実践的なネットワークが機能することをねらう。

#### 開催スケジュール

開催時期・場所	実施内容	講師・補佐
9月 釧路市	ファシリテーション入門講座（釧路市周辺の市民活動団体や地域住民を対象とした講座） ファシリテーション学習交流会（釧路市周辺の会員、実践者を対象とした学習交流会）	講師：宮本奏（NPO ファシリテーションきたのわ）、廣島悠作（NPO 法人 Bonos） 補佐：杉本順子（NPO 法人 Bonos）
10月 北見市	ファシリテーション入門講座（北見市周辺の市民活動団体や地域住民を対象とした講座） ファシリテーション学習交流会（北見市周辺の会員、実践者を対象とした学習交流会）	講師：宮本奏（NPO ファシリテーションきたのわ）、羽根石晃彦（NPO 法人ところ川自然学校）
11月 鶴居村	ファシリテーション入門講座（鶴居村周辺の市民活動団体や地域住民を対象とした講座） ファシリテーション学習交流会（鶴居村周辺の会員、実践者を対象とした学習交流会）	講師：宮本奏（NPO ファシリテーションきたのわ）、廣島悠作（NPO 法人 Bonos） 補佐：杉本順子（NPO 法人 Bonos）
12月 弟子屈町	ファシリテーション入門講座（弟子屈町周辺の市民活動団体や地域住民を対象とした講座） ファシリテーション学習交流会（弟子屈町周辺の会員、実践者を対象とした学習交流会）	講師：宮本奏（NPO ファシリテーションきたのわ）、東田秀美（NPO 法人旧小熊邸倶楽部） 補佐：萩原寛暢（てしかがえこまち推進協議会）



「ファシリテーション入門講座 参加型の会議をつくろう！」

概要

【日時】2012年9月30日(日)9:30~15:30  
 【会場】釧路まちなかコンシェルジュくるる  
 (釧路市北大通9丁目1)  
 【講師】宮本奏(NPO ファシリテーションきたのわ)、  
 廣島悠作(NPO 法人 Bonos)  
 【参加人数】12名  
 【主催】NPO ファシリテーションきたのわ  
 【共催】(公財)北海道地域活動振興協会、てしかが  
 えこまち推進協議会、鶴居村観光協会  
 【協力】NPO 法人 Bonos、釧路まちなかコンシェルジュ  
 くるる、NPO 法人とくろ川自然学校



プログラム

9:30~10:30 (60分)	1 オリエンテーション
10:30~11:00 (30分)	2 会議ってなんだろう？
11:00~11:10 (10分)	休憩
11:10~12:20 (70分)	3 会議を観察しよう！
12:20~13:20 (60分)	休憩
13:20~13:30 (10分)	4 アイスブレイク
13:30~15:20 (110分)	5 会議の進行にチャレンジ！
15:20~15:30 (10分)	6 全体振り返り「現場に向けて」

(計5時間)

広報手段  
 釧路まちなかコンシェルジュくるる、釧路市民活動センターわっとなど釧路市内・近郊の公共施設・NP  
 O団体などにチラシ配布、NPOメーリングリスト、facebook に投稿など







「ファシリテーション入門講座 in 北見 会議を“楽しく”する方法！」

概要

【日時】2012年10月28日(日)10:00~16:00  
 【会場】cafe 遊木民族  
 (北見市花月町6丁目3河西ぼたん園)  
 【講師】宮本奏(NPO ファシリテーションきたのわ)、羽根石晃彦(NPO 法人ところ川自然学校)  
 【参加人数】5名  
 【主催】NPO ファシリテーションきたのわ  
 【共催】(公財)北海道地域活動振興協会、てしかがえこまち推進協議会、NPO 法人ところ川自然学校、鶴居村観光協会  
 【協力】NPO 法人 Bonos、釧路まちなかコンシェルジュくるる



プログラム

10:00~10:30 (30分)	1 オリエンテーション
10:30~11:20 (50分)	2 「楽しい会議」とは？
11:20~11:30 (10分)	休憩
11:30~12:00 (30分)	3 問いを考えるアイスブレイク
12:00~13:00 (60分)	休憩
13:00~13:40 (40分)	4 会議を観察しよう！
13:40~15:45 (125分)	5 会議の進行にチャレンジ！
15:45~16:00 (15分)	6 全体振り返り「現場に向けて」

(計5時間)

広報手段

北見NPOサポートセンターや網走市市民活動センターなど北見市内・近郊の公共施設・NPO団体にチラシ配布、日刊フリーペーパー「経済の伝書鳩」に広告、プレスリリース、NPOメーリングリスト、facebook に投稿など

## 取組み

「プログラム4会議を観察しよう！」では、模擬会議で講師がファシリテーターとグラフィッカーとして実践し、参加者には話し合いに参加する役と会議を観察する役にわかれて会議の観察を行った。それぞれ、話し合いでどのような展開が起きていたかを共有することで会議の4段階を実感できた。

「プログラム5会議の進行にチャレンジ！」では、2つのチームに分かれて話し合いのテーマを決めて、会議の実践をした。会議での目的や目標(ゴール)設定の重要性を学ぶことができた。

## 課題

「プログラム2『楽しい会議』とは？」で会議に必要な3つの役割と会議の4つの段階を説明する基礎講座を行ったが、「楽しい会議」のイメージが共有できていないため伝わりにくさを感じた。

次回 ha

、参加者それぞれの会議や話し合いでのイメージなどから「楽しい会議」にするためにはどうすればよいかを話し合う場をつくりたい。

北見講座の一番の課題としては、参加者集めに苦戦したことだった。地域の情報誌に有料で募集記事を載せたり、地域のNPO関係団体にも直接電話をしたりなどオホーツク圏でできる広報に手を尽くしたが、結果としては5名だった。

今回の参加者に一番のターゲットであるNPOや地域活動団体からの参加がなかった理由として、自治体等主催のイベントが重なっていたなど时期的な理由もあるが、「講座に参加してもらおう」という私達側が受け身の形では届けたい人に届かないということを改めて実感した。

今後はNPOや地域活動団体がいる場所はこちらから出向いていくようなかたちで知ってもらう必要がある。また会議の進め方を学ぶ以前に興味を掘り起こす必要がある。



平成24年度コミュニケーション推進事業 NPOファシリテーション普及の推進プロジェクト

### ファシリテーション入門講座 in 北見

## 会議を“楽しく”する方法！

<b>10月28日(日) 10:00~16:00</b> <b>【会場】 cafe 週末芸術</b> 北見市花月町6丁目3番 河原ぼんじん <b>【講師】 宮本 博</b> (NPOファシリテーションおのわ) 宮藤石 真寿 (NPO法人とことろ自然塾学校)	<b>終了</b> 9月30日(日) 8:30~15:30 新築がちなコンプレックスのくくる
<b>11月22日(木) 12:00~18:00</b> <b>【講師】 宮本 博</b> (NPOファシリテーションおのわ) 宮藤石 真寿 (NPO法人とことろ自然塾学校)	<b>11月22日(木) 12:00~18:00</b> 鶴田村観光協会 同本部鶴田村鶴田西1丁目1
<b>12月2日(日) 10:00~16:00</b> <b>【プログラム】</b> 会場に到着後受付と受付後講義による/会議の進行にチャレンジなど	<b>12月2日(日) 10:00~16:00</b> 川邊ふるさと館 川上郡新子町川邊通東2丁目3-4

話がどんどん終わっていくなあ、いやな感じについて話しているのだろうか？  
 上場ばかり話している、あつちが聞きたくないなあ、あつちが聞きたくないなあ。  
 そんな会議を「楽しく」変えよう

**対象** 市民活動団体 (NPO 団体)、業内会など地域の活動団体、行政、企業、一般市民などご自身の関わる会議や話し合いをよりよく変えていきたい方  
**参加費** 1000円 (資料代)  
**申込み** ①希望会議名、②氏名、③所属、④性別、⑤年齢、⑥連絡先 (住所・携帯電話番号・メールアドレス)、⑦参加の動機 (お返事くださいと、お申し込み)、⑧講座を何回受講したいか、⑨講座の日程 (ご希望の日程をメールでお知らせください) までお申し込みください。  
**主催** NPO ファシリテーションおのわ (お問い合わせ) 090-8371-8902 (熊本)  
**共催** (公財) 北海道地域活動振興協会、てしあがてこまち推進協議会、鶴田村観光協会、NPO 法人とことろ自然塾学校  
**協力** NPO 法人 Bonos、網走まちなかコンシェルジュくるる



「ファシリテーション入門講座 in 鶴居村 会議を“楽しく”する方法！」

概要

【日時】2012年11月22日(木)  
 第1部 13:00~15:00 第2部 15:30~18:00  
 【会場】ファームレストランハートンツリー  
 (阿寒郡鶴居村雪裸 496-4)  
 【講師】宮本奏(NPO ファシリテーションきたのわ)、廣島悠作(NPO 法人 Bonos)  
 【参加人数】第1部 11名 第2部 6名  
 【主催】NPO ファシリテーションきたのわ  
 【共催】(公財)北海道地域活動振興協会、てしかがえこまち推進協議会、NPO 法人ところ川自然学校、NPO 法人美しい村・鶴居村観光協会  
 【協力】NPO 法人 Bonos



プログラム

13:00~13:30 (30分)	第1部 1 オリエンテーション
13:30~14:10 (40分)	2 「楽しい会議」と「困った会議」とは？
14:10~14:20 (10分)	休憩
14:20~15:00 (40分)	3 実際の会議で3役を実践するにはどうしたらいいか？
15:00~15:30 (30分)	休憩
15:30~16:20 (50分)	第2部 4 会議を観察しよう！
16:20~17:55 (95分)	5 会議の進行にチャレンジ！
17:55~18:00 (5分)	6 全体振り返り「現場に向けて」

(第1部 計2時間 第2部 計2.5時間)

広報手段

WEBを使った広報(facebook・ブログ・知人にメール)、鶴居村役場、鶴居村観光協会に協力要請など



## 取組み

NPO 法人美しい村・鶴居村観光協会の広報協力のおかげで開催することができた。新しい土地で講座を開催する場合は、開催地での共催団体の協力が不可欠であるということを実感した開催だった。

また現地の共催団体の意向により、初めて第1部(2時間)と第2部(2.5時間)にわけて開催した。

「プログラム2『楽しい会議』と『困った会議』とは？」で、ペアトークという手法を取り入れることで、話をしたことがない人同士で安心して話せる場づくりができスタートが切ることができた。

また途中参加者の質問とニーズに応じて、参加者に相談をしたうえでプログラムを変更し、柔軟に対応することができた。

## 課題

参加者側としては気軽に参加しやすい時間設定ではあったが、内容としてはやはり第1部のみの参加者は基礎講座までで終了したため、これまでの講座と比べると物足りなさを感じた。

2時間でもある程度満足感の得られるプログラムの再考が必要である。

「プログラム2『楽しい会議』と『困った会議』とは？」で会議に必要な3つの役割を説明した後、「どうやって普段の会議で3つの役割を取り入れることができるのか？」と参加者から質問があり、そのテーマで意見だしを行うプログラムに変更した。

意見だしをしている中で普段の会議は報告や説明のみで終わるものが多くそのような形式的な会議を想定したうえでの疑問だということがわかり、これは今回の講座で扱う「会議」の定義を最初に説明しなかったためにできた質問だったので、次回からは最初に説明をすることが課題となった。



平成24年度コミュニティ員研修会 NPOファシリテーション学びの会 講座開催のお知らせ

ファン/ファシリテーション入門講座の開催

### 会議を“楽しく”する方法！

参加したい！と思う会議に、  
変えてみたいと思いませんか？

**1日目(2日間)**  
12月10日(土) 10:00-16:00

**【講師】** フォームリストロン・ハートン(シドニー)  
国際戦略顧問 京都府 490-004

**【講師】** 近藤 崇  
(NPOフォーラム)アー・フレーム(恵比寿)  
講師 志保  
(NPO&ABonds)  
(札幌市)

第1部 10:00-11:50 00  
基礎から学べる！基礎の4つの役割と  
第2部 11:50-13:00 00  
高橋孝典さんより、高橋孝典さんに学ぶ100%

**2日目(2日間)**  
12月11日(日) 10:00-16:00

1日目の続きと懇話会

11:00-12:00 00  
懇話会(懇話会) 12月11日(日) 10:00-16:00  
高橋孝典さんに学ぶ100%

※当日は研修費として参加費として10,000円(税別)の研修費を  
申し込む必要があります。申し込みは  
お申し込み、お申し込みが100%の研修費を申し込む  
でお申し込み、お申し込みを申し込む。

**対象** 市民活動団体(NPO団体)、市内各自治会の活動団体、行政、企業、一般市民  
などご自身が習得の会議や話し合いをより深く進めたい方です。

**参加費** 1,000円(資料代)  
第1部・第2部2日間の参加費は500円

**申し込み** ①申込書 ②お名前 ③所属 ④性別 ⑤年齢  
⑥連絡先(住所・携帯電話番号・メールアドレス)  
⑦参加の動機(9割程度)に記入し、お申し込み(お申し込み)は  
申し込みをいただいた上で、お申し込み(お申し込み)までお申し込みください。

**会場** NPOフォーラム・セッション恵比寿  
(恵比寿)090-8371-8902(基本)

**主催** (公財)北海道地域政策推進協会、てしのがんこまち推進協議会、  
NPO法人美しい村・鶴居村観光協会、NPO法人こころの自然学校

**協力** NPO&ABonds



「ファシリテーション入門講座 in 弟子屈 会議を“楽しく”する方法！」

概要

【日時】2012年12月2日(日) 10:00～16:00  
 【会場】川湯ふるさと館  
 (弟子屈町川湯温泉2丁目3番40)  
 【講師】宮本奏 (NPO ファシリテーションきたのわ)、東田秀美 (NPO 法人旧小熊邸倶楽部)  
 【参加人数】7名  
 【主催】NPO ファシリテーションきたのわ  
 【共催】(公財)北海道地域活動振興協会、てしかがえこまち推進協議会、NPO 法人ところ川自然学校、NPO 法人美しい村・鶴居村観光協会  
 【協力】NPO 法人 Bonos



プログラム

10:00～10:15 (15分)	1 オリエンテーション
10:15～10:45 (30分)	2 「困った会議」と「楽しい会議」とは？
10:45～10:55 (10分)	休憩
10:55～12:00 (65分)	3 会議を観察しよう
12:00～13:00 (60分)	休憩
13:00～13:30 (30分)	4 会議の基礎知識
13:30～15:45 (135分)	5 会議の進行にチャレンジ！
15:45～16:00 (15分)	6 全体振り返り「現場に向けて」

(計5時間)

広報手段

弟子屈町内・近郊の公共施設などチラシ配布、新聞折り込み、NPOメーリングリスト、facebook に投稿など

## 取組み

今回のプログラムは、これまでの講座の振り返りを活かし、「プログラム3 会議を観察しよう」を「プログラム4 会議の基礎知識」の先に実施した。

最初に会議を観察したことにより、参加者同士で会議イメージが共有できた。また今回の講座で初めて時間に余裕をもって終了することができた理由として、「会議の観察」の後に「会議の基礎知識」の説明を行うことで説明が短くても参加者は理解できたことがわかった。今後もこのプログラムの順番で実施したい。

「プログラム5会議の進行にチャレンジ！」での会議で扱うテーマは、参加者が話したいテーマがあればその場で他の参加者に相談して決めることとし、なにもなければこちらから設定するという方法を提案した。

今回の場合はこれが最適だったが、参加者の状況に応じてこちらから設定したほうがいいのかもがあるので、その都度判断をする必要があるということがわかった。

「プログラム5 会議の進行にチャレンジ！」では多くの参加者に会議に必要な3つの役割を体験してもらうことを最優先に考え、少人数にはなるがグループ数を増やすことで3つの役割を体験する機会を多くするように今後も実施していきたい。

## 課題

今後の課題としては、参加者によって思い描いている会議の現場は違うので「タイプ別会議の攻略法」のように、会議にもいろいろあるという共通認識が持てるための資料やプログラムがあるとよいという振り返りとなった。



令和2年12月2日(日)10:00～18:00  
 ファシリテーション入門講座 in 電子館  
**会議を“楽しく”する方法!**

12月2日(日) 10:00～18:00

【会場】 稲葉ふるさと館 電子館利用棟2F2F3号室40

【講師】 宮本 善 (NPO ファシリテーション普及のわ)  
 東田 秀英 (NPO 法人 法人 法人 法人)

【プログラム】 会議に何を求めたら? / 会議を観察しよう / 会議の進行にチャレンジなど

自分のことを分かってほしい、でも相手は分かっていない、どうしたらいいの? そんな悩みを「楽しく」解決しよう

主催 市民活動課 (NPO 法人)、市民活動課の協賛、市民活動課、市民活動課、市民活動課  
 共催 市民活動課 (NPO 法人)、市民活動課の協賛、市民活動課、市民活動課、市民活動課  
 25名

学費等 1,000円 (資料代)  
 申込先 市民活動課 (市民活動課)  
 申込先 市民活動課 (市民活動課)  
 申込先 市民活動課 (市民活動課)

主催 NPO ファシリテーション普及のわ  
 (住所) 東京都中央区 000-0001-0002 (東京)

共催 市民活動課 (市民活動課)、市民活動課 (市民活動課)  
 NPO 法人 法人 法人、市民活動課の協賛、市民活動課 (市民活動課)  
 NPO 法人 法人 法人





講座で頂いた質問ときたのわからの回答例をご紹介します。

**Q1. 理想の話し合いの場とは、進行役と参加者のやり取りが多い方がよいのでしょうか、それとも参加者同士のやり取りが多い方がよいのでしょうか？**

A1. 最初は、進行役が参加者に問いを投げかけるところから始まることが多いですが、最終的には進行役が入らなくても参加者同士で話し合いが進んでいく場が理想的だと思いつつながら進行をしています。

**Q2. 仮の会議テーマとして「料理教室でつくる料理を決める」という話し合いの中で、「A案そば」と「B案うどん」で意見が割れて対立したとき、どのように対処したらよいのでしょうか？**

A2. 考えられる対処方法はいくつかあります。きたのわでは(1)～(3)だと思っていますが、他にもあるかもしれません。

(2)理由や想いを聞いてみる  
「B案うどん」がいいという方の理由として、参加者の中にはそばアレルギーの方がいる可能性があるという懸念要素があれば、その方は排除された講座になってしまうので、それは考慮する必要が出てきます。

(1)「料理講座」の目的に照らし合わせる  
仮に今回の料理教室の目的が「地域住民の交流の場」だとします。では、「A案そば」と「B案うどん」のどちらが目的達成に近いのかという軸で考えることができます。目的に合致している案として、別のC案がでてくることもあります。

また「A案そば」がいいという理由として、そば打ちを体験してみたいという意見がアンケートで多かった、というような状況であれば参加者の意向を考慮する必要があるかもしれません。多数決のような方法で決めてしまうと、少数の意見が排除されてしまうので、それぞれの理由や想いを共有できる時間が最初にあるとよいと思います。

(3)どちらか1つの案に決めなくてはならないのかを問いかける  
今回は「A案そば」を作り、次回に「B案うどん」を作ってみるという、どちらも作るが順番を決めるという方法もあります。  
もしくは、本番前に「A案そば」と「B案うどん」を試しに作ってみて、よかった方で決めることもできるかもしれません。どちらか1つに決めなくてはならないのか？という問いを投げかけることもあります。

**Q3. 「4つの段階がある会議」は、普通の町内会の会議などで実際にできるでしょうか？**

A3. 普通の町内会などで行われる会議というのは、例えば報告や説明だけで終わる「儀式的な会議」が多いかもしれません。



それは4つの段階の最初の「共有」の段階までの会議です。この類の会議が必要な場合もありますが、しかし、この講座で前提としている会議というのは、参加者が意見をだし最後に何かしらの結論を出して終わるとい「決める会議」のことです。  
「決める会議」には4つの段階があります。

**Q4. 決定の方法として「多数決」で決めるという方法にしてもよいのでしょうか？**

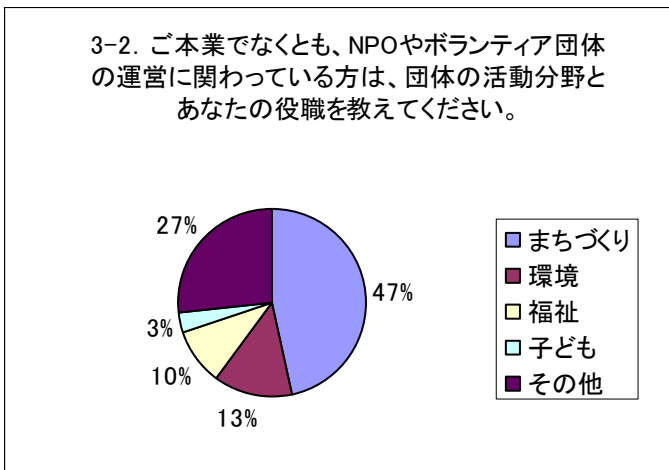
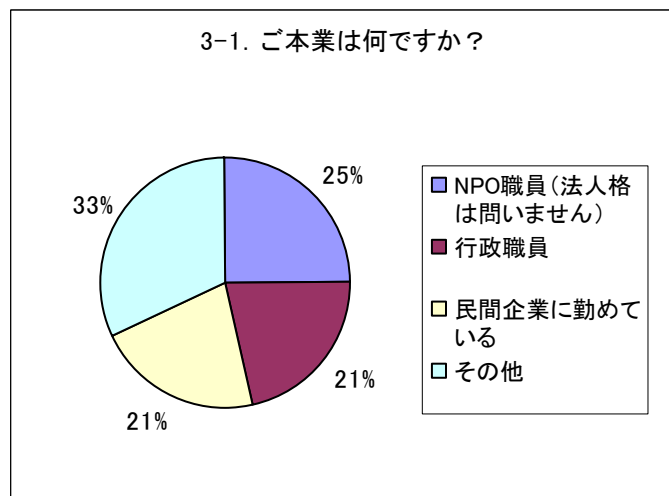
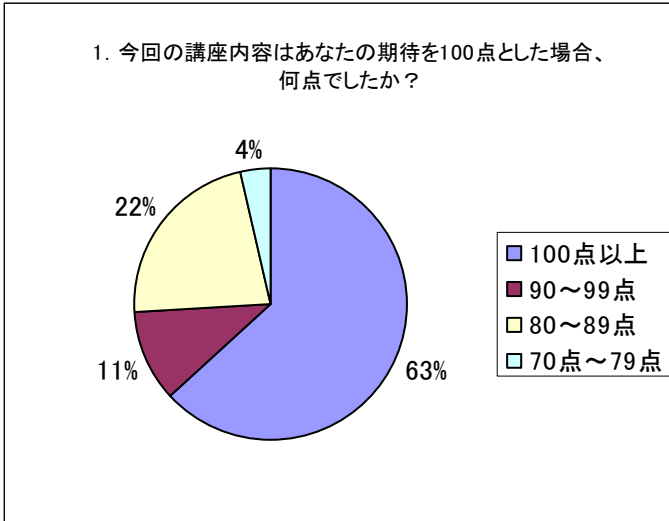
A4. そもそも決定の方法として一番大事にすべきことは、決定の方法に参加者の合意を得られているかどうかです。  
「多数決」のデメリットは、少数派の意見が排除されてしまう可能性があること。それを参加者に確認する必要があります。決定の方法で困ったときは、「どのように決めるかを悩んでいます」と参加者に相談をしたりします。最終的に「多数決」という方法でいいという合意が取れれば「多数決」でもよいと思います。





## 4 参加者アンケート結果

今回、道東4地域の講座に参加した参加者35名に事後アンケートを実施した。そのうち、回答数は29名であった（アンケート回収率82.8%）。



### 2. 点数をさらに高めるには、どの部分をどのように改善すればよいか、ご助言をお願いします。

#### 「時間が短い」

- ・もっと時間を長くした方が良いと思います。
- ・1回の講座では内容が濃い。2～3回に分けてもよいのでは・・・
- ・時間の関係もあるけどもうすこしじっくりと話を聞きたかった。(時間足りないかも)
- ・自由な質疑応答の時間、共有できる時間がほしい。

#### 「会場の雰囲気」

- ・会場が少し暗く感じました。
- ・場の雰囲気が良く楽しく、積極的に参加できました。ありがとうございます。

#### 「期待以上、収穫有り」

- ・頭の中でわかったつもりでも、実際にやってみることで自身の悪い癖が再認識できた。これからの活動(会議に関わらず)に大切なことを学べました。(期待以上です)
- ・正直、参加しても自分が何か気づかなければ意味ないと思っていたのですが、明日から実践できること、意識することも見つかって期待以上でした。
- ・期待が正直低かったせいか、とても収穫の多い経験になりました。参加者の多様な視点・意見が刺激や参考、気づきになり、楽しい時間になってとてもよかったです。
- ・今回は知らない事を知れて大変有意義でした。もし次に参加するときは実践をもっとやってみたいです。
- ・Mr. ししやものPR方法(模擬会議のテーマ)で納得のいくところまでいけたら100点だった！
- ・大変わかりやすかった。ファシリテーションにも色々な手法があるのだということが分かった。

#### 「いまいち」

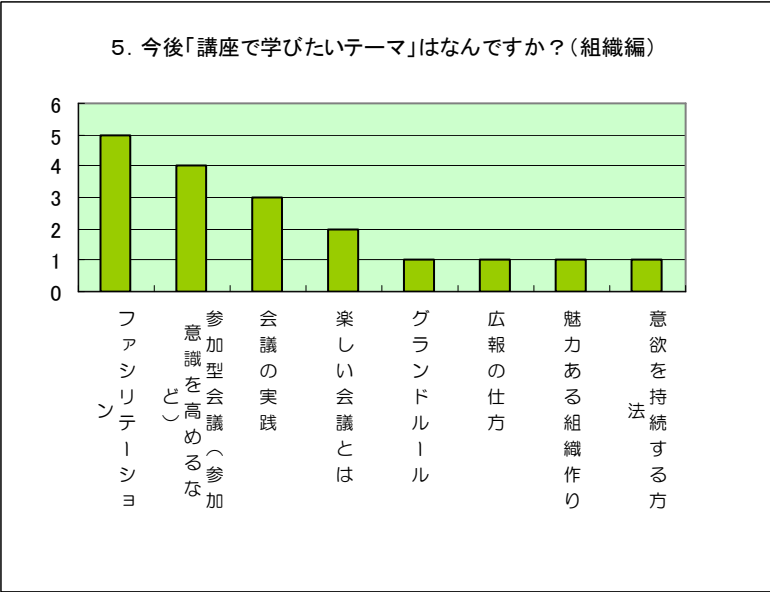
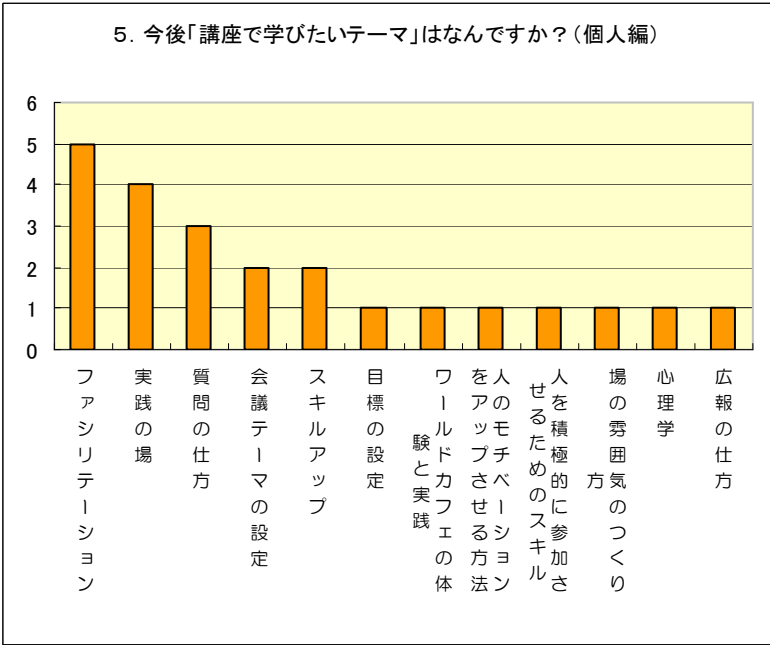
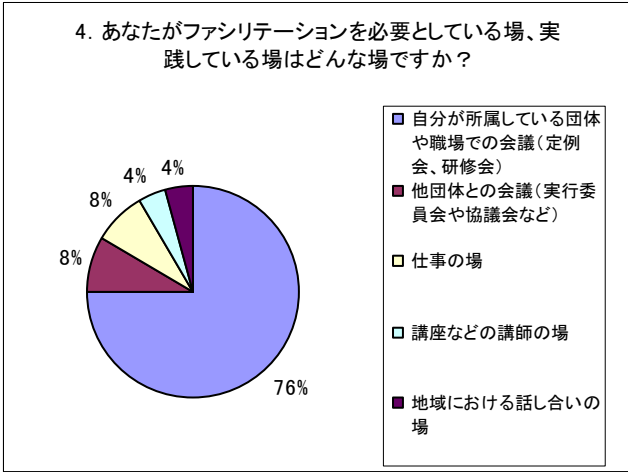
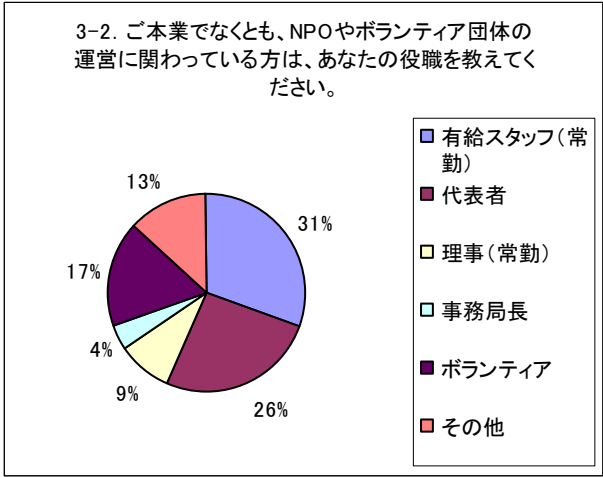
- ・予想の範囲内のものでした。いい意味で予想を超えるものであって欲しいとも思っていました。

#### 「参加者を増やして！」

- ・ファシリテーション開催告知をもっと広げて、参加人数が大勢いればもっといろいろな意見が聞けるのかなど。人数の増加です。
- ・ファシリテーションの練習をするときに、もっと人数がいれば理想的でした。

#### 「もっと知りたい」

- ・入門講座とあったが上級講座とはどんなものか知りたくなった。



6. あなたと同じ団体の方に「講座で学んでほしいテーマ」はなんですか？

誰に	何を	人数
会議に参加するすべての人	ファシリテーション(会議の進め方)	9
	コミュニケーション	1
	リーダーシップ	1
	パートナーシップ	1
スタッフ	ファシリテーション(会議の進め方)	3
	グループワークの進め方	1
	ネットリテラシー	1
	社会マナー(気遣いの仕方)	1
職員	ファシリテーション(会議の進め方)	1
役員	ファシリテーション(会議の進め方)	3
管理職	ファシリテーション(会議の進め方)	2
上司	プラス思考	1
	ファシリテーション(会議の進め方)	1
実行委員	ファシリテーション(会議の進め方)	1



団体を設立して3年目となる年に、道東4地域で講座をする機会を得ることができました。北海道内のファシリテーション事情を知るために自分たちの足で歩いて、地域で活動している方に直接お会いするという貴重な機会を得ることができ、これからの活動を大きく支えてくれる基となります。

### 「開催地での協力団体は不可欠」

全4回の講座を企画・開催するにあたり、その地域で活動する当団体会員とともに話し合いをしながら進めていきました。「地元のことは地元の人が一番良く知っている」という言葉の通り、どこに声かけをすれば興味のある人が集まるか、どのような広報媒体に掲載すれば対象とする人が見てくれるかなど、地元に関する情報は全て当団体会員（以下、メンバー）に相談をして行いました。

特に鶴居村での開催は、鶴居村にはメンバーはいなかったのですが、釧路市で活動しているメンバーから紹介してもらった鶴居村観光協会の方々から場所の提供、参加者の集約などの協力があり、新しい土地で開催することができました。以上のことから、北海道内で講座を開催するに当たって、開催地でのメンバーや協力団体は不可欠であることを実感しました。

### 「届けたい人に届けるためには、地域性に応じてやり方を変える」

きたのわが一番「届けたい人」とは、「道内で活動している市民活動団体や地域活動団体の人々」です。例えば釧路市の広報の仕方と北見市の広報の仕方が同じでは、参加人数はもちろんのこと参加者の所属や分野が異なったことから、道東という同じエリア内でも、そのまちの地域性に応じて届けたい人に届ける方法を変える必要があることを実感しました。今回は地域の情報を把握しているメンバーの意見を参考に、「チラシのタイトル名」、「講座の時間帯」、「講座の内容」、「広報の手段」などを検討し、その地域性に応じて柔軟に変更をしました。今後は、このような地域性も踏まえて、参加を受け身で待つ講座というスタイルだけではなく、「届けたい人」がいる場所にこちらから出向いていけるような仕組みをつくりたいと思います。

### 「その後のフォローが必要」

今回初めて道東4地域で講座を開催し、そこに参加して下さった方々がこれからファシリテーションを実践していく現場を応援するためにも、事後のフォローが必要だと感じました。各地域のメンバーとともに、参加者を継続的にフォローしていける仕組みを考える必要がある。それと同じく今後も道内各地で講座や活動を展開していくにあたり、その地域で活動するメンバーを継続的に育成していく必要があります。そのための仕組みづくりに、次年度から取り組んでいきたいと思います。

## ミッション（使命）

住民が対話を通じて

地域やコミュニティの課題を解決していく

社会の実現を目指します。

そのために私たちは、

北海道の NPO が行動を生み出す参加型の場づくり

について学び、実践することを支援します。



NPOファシリテーションきたのわ

2012（平成24）年度コミュニティ再生講座 報告書

<http://www.facebook.com/kitanowa>

<http://kitanowa.jimdo.com/>

この講座は公益財団法人北海道地域活動振興協会が行う「コミュニティ再生講座」として採択を受け実施しました。